

<<EPMAの遠隔操作について>>

EPMAは10月8日から遠隔操作ができるようになりました。

遠隔操作には『team viewer』というソフトウェアを使用します。

<https://www.teamviewer.com/ja/>

team viewerを使用するには、上記URLから無料ダウンロードでソフトウェアを取得し、パソコンにインストールしてください。

team viewerを使用すると、EPMA制御パソコンのデスクトップが、自分のパソコン上に現れますので、測定室から離れた場所（自分の研究室や自宅等）で

- ・ EPMA 測定
- ・ 解析ソフトの使用
- ・ 測定データファイルの転送

をすることができます。

EPMA制御パソコンには、**本学の team viewer 商用ライセンスに紐づいたアカウント以外からはアクセスできません**ので、まずセンター小林さん kobayashi@cia.uec.ac.jp に連絡して「**本学の team viewer 商用ライセンスに紐づいたアカウント**」を取得してください。

上記アカウントを取得後、設備管理者が遠隔操作に必要な**パートナーID、パスワード**を教えます。

<<遠隔操作のルールについて>>

(1) **遠隔操作をする時間帯は必ず設備予約システムで設備予約をしてください。**

(2) 遠隔操作でサンプル測定を行う場合、自分の研究室あるいは他研究室の院生・学生に、パソコンの電源 ON、装置の立ち上げ、試料セッティング、パソコンの電源 OFF、後片付け等を行ってもらうようにしてください（上記下線のサポートを行う人を、以下 EPMA スーパーユーザと称します）

他研究室のユーザのために EPMA スーパーユーザの仕事をしてくれた人には、研究設備センターから時間単位で謝金をお支払いします。

自分の研究室あるいは他研究室の院生・学生に EPMA スーパーユーザの仕事を依頼するのは、遠隔操作を行うユーザ自信が行ってください

EPMA スーパーユーザの仕事を依頼した場合は kuwahara@uec.ac.jp まで連絡をお願いします。

(3) 遠隔操作でデータ解析のみを行う（測定は行わない）場合も、**必ず設備予約システムで設備予約**をしてください。測定データファイルの転送のみを行う場合は設備予約は不要ですが、装置が使用中でないことを予約システムで確認してから行ってください。

（この場合、制御パソコンの電源 ON、最後に電源 OFFを誰が行うかについては、誰かに依頼する、ユーザ自身が行う等考えられますが、遠隔操作でデータ解析のみを行う（測定は行わない）場合、サポートしてくれた人に謝金は出ませんのでご注意ください。）